

変額保険

グローバルミックス

【引受保険会社】



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

2018年度 (2018年4月～2019年3月) 特別勘定の現況

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式 50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 ALM&特別勘定運用部が行います。)	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
		アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) (適格機関投資家私募)	
債券 50%			

※ 特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

変額保険

特別勘定の現況（2018年4月～2019年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境

【日本株式市場】

日本株式市場は下落しました。年度末の東証株価指数(TOPIX)は前年度末比-7.26%の1,591.64ポイント(前年度末1,716.30ポイント)となりました。年度の前半は、米中貿易摩擦の動向などにより上下に振られる場面もあったものの、堅調な米国株式市場や米金利上昇に伴う為替の円安米ドル高基調での推移などから上昇しました。しかし、年度の後半に入ると、米長期金利の上昇などをを受けた米国株安や円高米ドル安などにより急落し、12月には世界経済に対する先行き不透明感やトランプ米大統領による政権運営に対する警戒感などを受けて下落しました。その後は、米国株式市場の反転上昇や円安米ドル高などを背景に上昇しましたが、年度末にかけて、世界経済に対する先行き不透明感が意識されたことなどから上値の重い展開となりました。年度を通じては下落となりました。

【外国株式市場】

米国株式市場は上昇しました。年度末のNYダウ工業株30種は前年度末比+7.57%の25,928.68ドル(前年度末24,103.11ドル)となりました。年度の前半は、米中貿易摩擦の動向による上下への動きが見られたものの、良好な企業決算の発表などを背景に概ね上昇しました。年度の後半は、10月に米長期金利の上昇に対する懸念などから大きく下落し、その後も米中貿易摩擦に対する懸念やFRB(連邦準備制度理事会)のタカ派姿勢などを受けて下落しました。その後は年末商戦の好調な結果が示されたことやFRBのハト派姿勢などを背景に反転上昇しましたが、世界経済に対する先行き不透明感が意識されたことなどから、年度末にかけて上値の重い展開となりました。年度を通じては上昇となりました。

欧州株式市場は年度前半、米国市場に連れて上昇基調となりましたが、トルコ・リラの急落などにより下落する場面もありました。年度後半は、米国株安や英国のEU(欧州連合)離脱を巡る先行き不安などから一時下落した後、米国株式の反転上昇などを要因に上昇しました。年度末にかけては、上値の重い展開となりました。年間を通しては、市場によってまちまちの展開となりました。市場別の年間の騰落率は、独DAX指数-4.72%、仏CAC40指数+3.55%となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、10年国債の金利が低下(価格は上昇)し、年度末には-0.095%(前年度末0.045%)となりました。年度前半は、欧米債券市場の金利上昇や日銀の国債買い入れオペ減額などを背景に上昇(価格は下落)、10月初旬には0.155%をつけました。年度後半は、株式市場の下落などを受けた投資家のリスク回避の動きや国内債券需給の引き締まりが意識されたこと、欧米の中央銀行によるハト派姿勢などを受けて低下基調をたどり、-0.100%付近まで下げました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、10年国債の金利が低下(価格は上昇)し、年度末には2.405%(前年度末2.739%)となりました。年度前半は、堅調な経済指標や株式市場の上昇、FOMC(連邦公開市場委員会)による利上げ見通しの上方修正などを背景に金利は上昇(価格は下落)しました。年度後半は、年度前半までの流れを受けて10月に3.259%まで上昇しましたが、米国の利上げペースが鈍化するとの見方が広がったことやFRBがFOMCにおいてハト派姿勢を示したことなどを要因に金利は低下しました。年度中に、FRBによる、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標引き上げが3回行われ、計0.750%引き上げ、年2.250~2.500%となりました。

欧州債券市場は、独10年国債の金利が低下し、年度末には-0.070%(前年度末0.497%)となりました。年度前半は、米金利の上昇などから一時0.656%へと上昇しましたが、南欧の政治不安の高まりや米中貿易摩擦に対する懸念などの金利低下要因もあり、まちまちの展開となりました。年度後半には、弱めの経済指標やイタリアの財政懸念、経済見通しの下方修正やECB(欧州中央銀行)総裁の利上げ再延期の示唆などを背景に金利は低下基調で推移しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、円安米ドル高となり、年度末には110.99円(前年度末106.24円)となりました。年度前半は、米金利が上昇傾向で推移したことなどを背景に円安米ドル高基調で推移しました。その後は、米国株安などから円高米ドル安基調に転じると、12月には米金利の低下やトランプ米大統領による政権運営への警戒感などから大きく円高米ドル安が進みました。その後、米国株式の上昇や米中貿易摩擦に対する懸念の後退などを受けて円安米ドル高基調で推移しました。

ユーロ/円相場は、円高ユーロ安となり、年度末には124.56円(前年度末130.52円)となりました。年度前半は、ECBによる欧州の景気に対する楽観的な見方があった一方で、南欧の政治不安が高まりリスク回避のため安全資産とされる円が買われたことなどを背景に上下に値動きの荒い展開となりました。年度後半は、弱めの経済指標やイタリアの財政懸念などを背景に円高ユーロ安基調となる中、1月初旬には世界的な相場不安から急激に円高ユーロ安に振れました。その後、世界的な株高などを受けて円安ユーロ高基調で推移しました。年度を通じては円高ユーロ安となりました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の現況 (2018年4月～2019年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2019年3月 末日現在]

■特別勘定のINDEXの推移

※ 特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2019年3月末	2018年12月末	2018年9月末	2018年6月末	2018年3月末	
INDEX	1.284	1.226	1.341	1.311	1.302	
騰落率(%)	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
	0.12	4.75	△ 4.23	△ 1.32	11.59	28.44

※ 特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

※ 騰落率は、当月末における、上記各期間のINDEXの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	2,139,932	4.6
その他有価証券	43,916,244	95.4
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	4,750,181	10.3
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)	7,103,690	15.4
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	7,232,560	15.7
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	4,862,487	10.6
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	19,967,325	43.4
合計	46,056,177	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	—
有価証券売却益	46,746
有価証券評価益	432,538
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	1,557
有価証券評価損	989,612
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	△ 511,885

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。主に日本株式がマイナスに寄りました。資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%程度、欧米株式25%程度の資産配分といたしました。)今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の現況（2018年4月～2019年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)

[2019年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○組入上位10銘柄

順位	銘柄	業種	マザーファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	2.91%
2	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.94%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.93%
4	本田技研工業	輸送用機器	1.84%
5	ソニー	電気機器	1.76%
6	武田薬品工業	医薬品	1.68%
7	KDDI	情報・通信業	1.61%
8	アステラス製薬	医薬品	1.47%
9	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.32%
10	伊藤忠商事	卸売業	1.27%
合計			17.72%
組入銘柄数			297銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	△0.41%	6.80%	△12.44%	△7.17%	22.89%	47.21%
BM	△1.00%	6.53%	△12.41%	△7.26%	18.14%	7.35%
差	0.59%	0.27%	△0.02%	0.09%	4.75%	39.86%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹⁾です。

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)

[2019年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○組入上位10銘柄

順位	銘柄	業種	マザーファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.44%
2	ソニー	電気機器	2.34%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.28%
4	東海旅客鉄道	陸運業	2.20%
5	本田技研工業	輸送用機器	2.18%
6	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2.09%
7	三菱商事	卸売業	1.93%
8	東京海上ホールディングス	保険業	1.93%
9	KDDI	情報・通信業	1.90%
10	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.83%
合計			22.11%
組入銘柄数			196銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	△0.71%	6.41%	△13.92%	△9.91%	20.56%	72.46%
BM	△1.00%	6.53%	△12.41%	△7.26%	18.14%	23.45%
差	0.29%	△0.12%	△1.51%	△2.65%	2.41%	49.01%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹⁾です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～6ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の現況（2018年4月～2019年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーク・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)

[2019年3月 末日現在]

■ 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーク・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選択してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーク・米国株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■ マザーファンド受益証券の詳細情報

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	4.08%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.55%
3	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	3.25%
4	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.59%
5	MEDTRONIC PLC	アイルランド	ヘルスケア機器・サービス	1.43%
6	ORACLE CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.40%
7	SALESFORCE.COM INC.	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.38%
8	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.37%
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	1.28%
10	FACEBOOK INC.	アメリカ	メディア・娯楽	1.26%
合計				21.59%
組入銘柄数				207銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■ 当投資信託の騰落率

	過去 1カ月	過去 3カ月	過去 6カ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.44%	12.53%	△4.86%	4.97%	32.10%	151.25%
BM	0.58%	12.30%	△4.81%	3.78%	28.61%	92.49%
差	△0.14%	0.23%	△0.06%	1.19%	3.49%	58.76%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数²(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

アクサ ローゼンバーク・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)

[2019年3月 末日現在]

■ 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーク・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選択してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーク・欧州株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■ マザーファンド受益証券の詳細情報

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー	3.12%
2	NESTLE SA	スイス	食品・飲料・タバコ	2.92%
3	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー	2.01%
4	DIAGEO PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	2.00%
5	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	イギリス	エネルギー	1.96%
6	UNILEVER NV	オランダ	家庭用品・パーソナル用品	1.85%
7	SIEMENS AG	ドイツ	資本財	1.72%
8	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	1.71%
9	L'OREAL	フランス	家庭用品・パーソナル用品	1.59%
10	UNILEVER PLC	イギリス	家庭用品・パーソナル用品	1.55%
合計				20.43%
組入銘柄数				190銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■ 当投資信託の騰落率

	過去 1カ月	過去 3カ月	過去 6カ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	1.07%	12.27%	△4.51%	△0.22%	14.93%	46.14%
BM	0.95%	12.38%	△3.64%	0.47%	14.78%	7.84%
差	0.12%	△0.11%	△0.87%	△0.68%	0.14%	38.30%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数³(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 4ページ～6ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の現況 (2018年4月～2019年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) (適格機関投資家私募)

[2019年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) (適格機関投資家私募)
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.25%	0.19%	0.61%	0.37%	0.14%	18.44%
BM	0.18%	0.24%	0.66%	0.45%	△0.04%	23.79%
差	0.07%	△0.06%	△0.05%	△0.08%	0.19%	△5.35%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックス^{※4}です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	第324回利付国債(10年)	日本	0.800%	2022年6月20日	A1	A+	12.67%
2	第345回利付国債(10年)	日本	0.100%	2026年12月20日	A1	A+	8.37%
3	第52回地方公共団体金融機構債券	日本	0.831%	2023年9月28日	A1	A+	4.71%
4	第322回利付国債(10年)	日本	0.900%	2022年3月20日	A1	A+	4.69%
5	第39回政府保証株式会社日本政策投資銀行	日本	0.145%	2027年3月15日	A1	A	4.63%
6	第3回BPCE債	フランス	0.385%	2023年1月25日	-	A-	4.49%
7	第341回利付国債(10年)	日本	0.300%	2025年12月20日	A1	A+	4.47%
8	第14回パナソニック株式会社無担保普通社債	日本	0.934%	2025年3月19日	A3	A-	3.80%
9	第17回BPCE債	フランス	0.217%	2023年1月25日	A1	A+	3.63%
10	第348回利付国債(10年)	日本	0.100%	2027年9月20日	A1	A+	3.26%
合計							54.71%
組入銘柄数							46銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

用語説明

- *1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下東証東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東証東京証券取引所が有しています。東証東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *2 「S&P500種株価指数」とは、スタンダード&プアーズ社が公表している株面指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。
- *3 「MSCI欧州株面指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株面指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株面指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株面指数(現地通貨ベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。
- *4 ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ビーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ビーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

注意事項

○変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

○変額保険のリスクについて

①市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～6ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>